



白山ユネスコエコパーク

Mount Hakusan Biosphere Reserve



白山山頂直下の
室堂ビジターセンター

ユネスコエコパークへの取り組みの背景、目的

白山ユネスコエコパークは、白山を取り囲む4つの県と7つの市村で構成されています。同じように白山を仰ぎ、白山の恵みを受けた暮らしを営んできた7市村ですが、これまで一緒に活動する機会はあまりありませんでした。

共通する資源をもち、共通する課題を持った7市村が一致団結してユネスコエコパークに取り組むことで、「環白山地域」の持続可能な発展を目指しています。

白山ユネスコエコパークの概要

白山ユネスコエコパークは、1980年に登録された、日本で最初のユネスコエコパークのひとつです。

近年まで活動が低調でしたが、2014年1月に白山ユネスコエコパーク協議会を立ち上げ、少しずつ活性化しています。

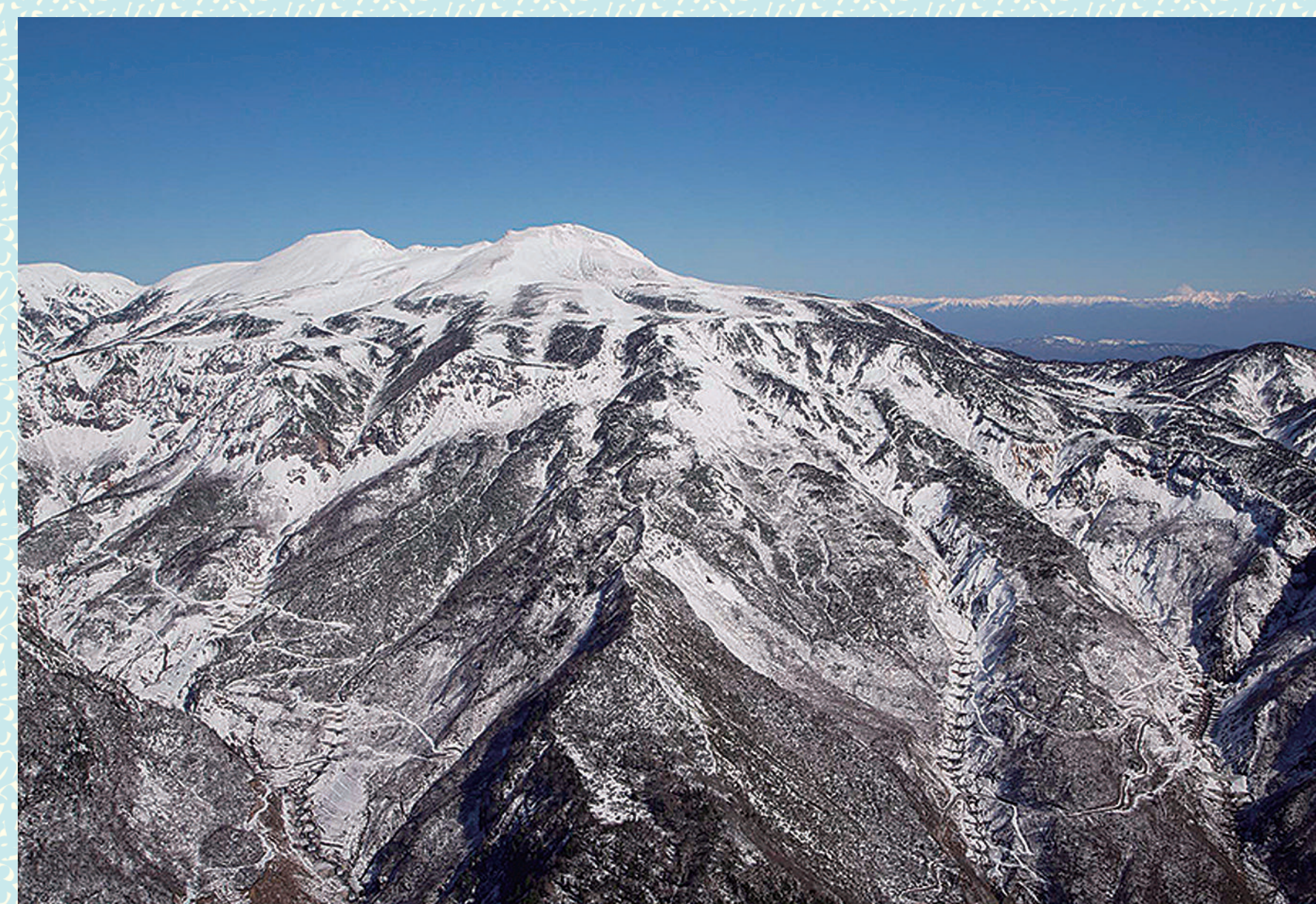
白山ユネスコエコパークは4つの県にまたがり、7つの市村で構成されています。

富山県：南砺市

石川県：白山市

福井県：大野市・勝山市

岐阜県：高山市・郡上市・白川村



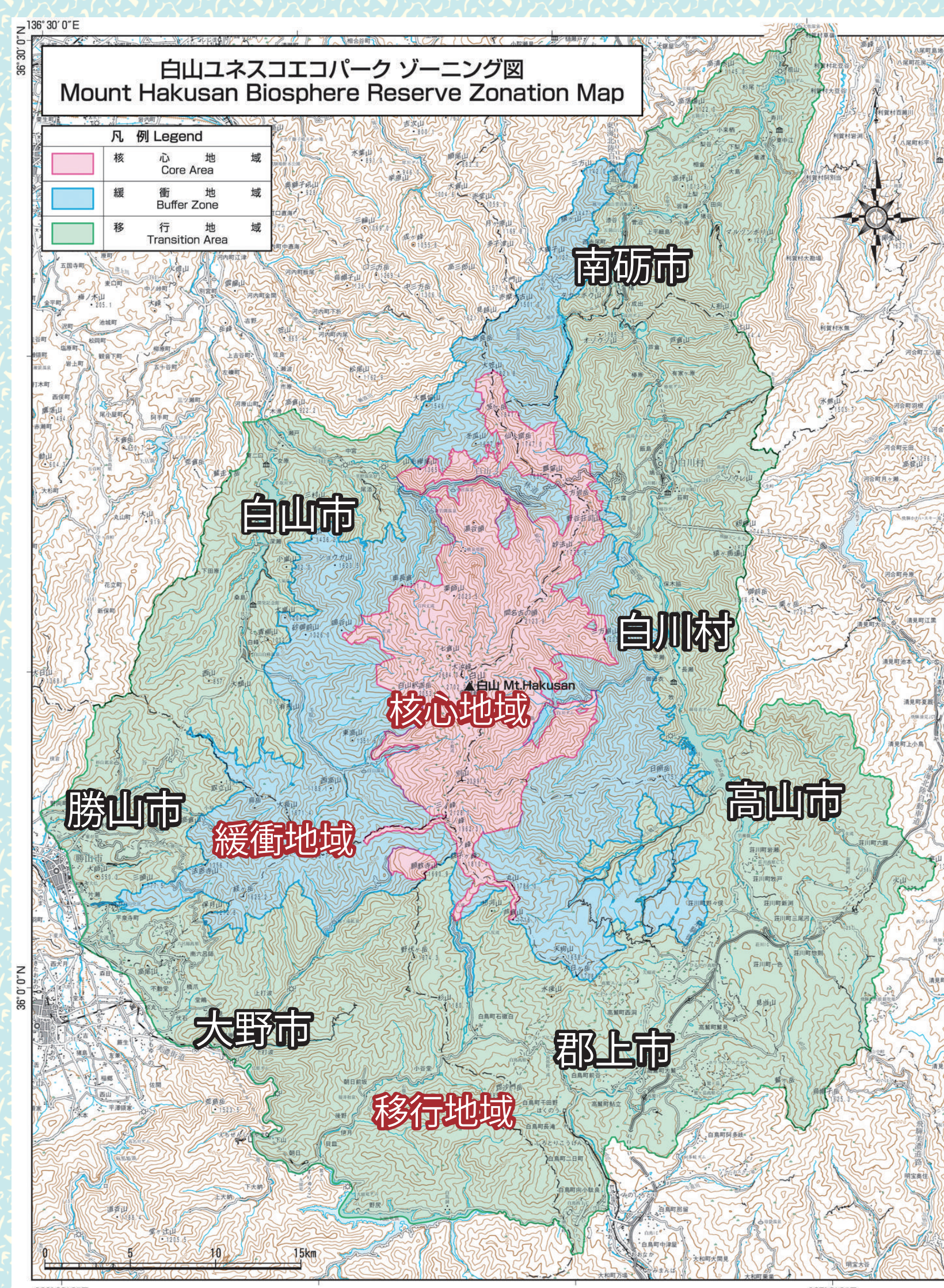
冬の白山



核心地域： 室堂平のお花畑



緩衝地域： 刈込池



白山ユネスコエコパークのゾーニング

白山ユネスコエコパークの面積

総面積	199,329ha
核心地域	22,120ha
緩衝地域	45,660ha
移行地域	131,549ha



移行地域： 白山とそば畑

1980年の登録当時は、核心地域と緩衝地域の2つのゾーンしかなかったのですが、その後、自然資源を持続可能な形で活用し、人々が生活を営む移行地域が重視されるようになったことから、白山ユネスコエコパークでは、移行地域の新設を含めた拡張登録をユネスコへ申請していました。そして2016年3月に承認され、新たなスタートを切りました。